

## ボランティア組織と連携した特産品開発(伊方町)

### 【取組概要】

東日本大震災の被災地支援を目的としたボランティア組織等と連携し、町有の農業体験施設を有効活用して、さつまいものブランド化へ向けての事業を展開した。

人口 10,624人

担当部署 産業振興課 地域振興センター

### 【取組みの効果】

- ・ブランド化のための特産品の開発、消費者の嗜好調査、栽培環境調査が効率的に実施できた。
- ・連携により、ボランティア団体等の活動・育成を支援するとともに被災地とのつながりが持てた。



さつまいもの栽培状況

### 【他団体へのアドバイス】

- ・現状を分析して、身の丈に合った取り組みを心がける。
- ・地域づくりにおいて、行政自らが汗を流し、ともに汗を流す人の輪を広げていくことが重要。

### 【創意・工夫した点】

- ・マンパワーの不足を多くのボランティアで補えた。
- ・栽培のための経費の大部分をボランティア団体による成果物の販売でカバーした。



自作キャラクターでのPR